



Graduate School of

Arts and Letters

文学研究科

独自のカリキュラムを持つ

9つの専攻により

文学・歴史・地理・人間の領域に挑む

文学研究科は、日本文学・英文学・仏文学・独文学・演劇学・史学・地理学・臨床人間学・文芸メディア専攻の9つの専攻から成り立っています。史学専攻においては、日本史学・アジア史・西洋史学・考古学の4専修、臨床人間学専攻においては、臨床心理学・現代社会学・教育学の3専修に分かれています。

これらの各専攻・専修は、それぞれの専門分野を深く極められることが出来るようにカリキュラムが組まれており、約100名の専任教員が担当しています。また、専任教員でカバー出来ないところは、兼任教員によって補充しており、少人数教育による指導を徹底しています。各専攻・専修での縦断教育のみならず、専攻の枠を超えた横断教育も行い、広い視野から専門を据え直すとともに、新しい研究領域の開拓を目指しています。

大学院事務室（グローバルフロント5F）

※事務取扱時間（開室時間）はHPで確認してください。

電話●03-3296-4143 Mail●bunken@mics.meiji.ac.jp

※休業期間やイベント等により開室時間は変更となる場合があります。



文学研究科Webページ

https://www.meiji.ac.jp/dai_in/arts-letters/index.html



入学者の受入方針
(アドミッション・ポリシー)

https://www.meiji.ac.jp/dai_in/arts-letters/policy/graduate_ap.html



教育課程編成・実施方針
(カリキュラム・ポリシー)

https://www.meiji.ac.jp/dai_in/arts-letters/policy/graduate_cp.html



学位授与方針
(ディプロマ・ポリシー)

https://www.meiji.ac.jp/dai_in/arts-letters/policy/graduate_dp.html

●● 人材養成その他の教育研究上の目的

文学研究科は、日本文学、英文学、仏文学、独文学、演劇学、文芸メディア、史学(日本史学、アジア史、西洋史学、考古学の4専修)、地理学、臨床人間学(臨床心理学、現代社会学、教育学の3専修)から構成され、いずれの専攻・専修においても、多角的な人文科学の基礎科学を修得しつつ、現代社会における人間存在の普遍的な課題の解明に寄与することを目的としている。豊かな感性と鋭い理性を備え、高邁な精神文化と科学的な時間・空間認識を会得した優れた人材育成(博士前期課程では専門的知識を有する社会人を、後期課程では専門的に研究に携わる研究者の養成)を目標とする。

●● 共通科目の設置

文学研究科では、専攻横断的、総合的研究領域の創設を目指し、博士前期課程に「人文社会学研究特論Ⅰ～Ⅴ」「文研学際研究入門Ⅰ～Ⅴ」「人文社会科学のためのデータサイエンスとAI」、「特修外国語科目」、博士後期課程に「文研総合演習Ⅰ～Ⅴ」を各専攻共通科目として設置しています。

●● 専攻

文学研究科では専攻を9つの系列に大別し、専攻ごとに独自のカリキュラムを組み、複雑多様化する人文科学の諸分野をカバーし研究指導を行っています。

日本文学専攻	各時代別の文学および時代を限定しない国語学を研究するための科目を中心とし、更に日本文学史・日本文学特殊講義・漢文学など関係領域科目を設置。	→ P.68
英文学専攻	文学では、1500年代から現代に至るまでの演劇、小説、批評を中心としたイギリス文学、アメリカルネサンス期から現代に至るまでの小説や詩のほか、多岐にわたるジャンルのアメリカ文学、ならびに身体論、ジェンダー論、文化論などの理論を、英語学では、統語論、形態論、語用論、認知言語学、意味論、音声学・音韻論、文体論、語彙論、辞書学、日英対照言語学などを研究。	→ P.69
仏文学専攻	フランス文学、文法論的研究をはじめ、19・20世紀フランス思想、ルネサンス、近代の散文の分析、近・現代の詩の解明を対象とし、ブルーストやフランス演劇なども研究。	→ P.70
独文学専攻	近代現代文学を研究対象とし、思想、芸術、政治などの関わりで文学現象を考察出来る視点を持つよう指導。語学能力向上のための徹底した訓練も実施。	→ P.71
演劇学専攻	日本演劇と西洋演劇について広い視野を持って歴史的、論理的に研究する基礎を築きつつ、専門領域についての探究を深めるよう指導。	→ P.72
文芸メディア専攻 (修士課程のみ)	思想から風俗に至る文化的諸状況、特にメディア状況と文芸テキストの関係を総合的に考究する。 具体的には、メディアと大衆文化、都市・都市文化と文学、源氏物語をはじめとする古典文芸の受容、仏教思想・国学思想と文芸、近世文芸と近世メディア、出版史・出版研究、文芸思潮研究、創作特論、翻訳研究、表象文化論など。	→ P.73
史学専攻	社会的存在としての人間が営々と培ってきた諸国の歴史と、その結果もたらされたものの分析、更には各時代の文化の特質などを、研究対象に設置。 【日本史学専修】 古代から現代史までの幅広い領域を対象。 【アジア史専修】 アジア全域の全時代を対象。 【西洋史学専修】 西欧や国際関係史など幅広い領域での研究を展開。 【考古学専修】 東アジアでの日本の位置付けについても研究。	→ P.74
地理学専攻	地形・気候・環境などの自然地理分野、経済・社会・文化などの人文地理学分野、国内外を対象とした地域研究などを実施。	→ P.77
臨床人間学専攻	混迷をきわめる現代社会とそこに生きる人間について、心理・社会・教育の視点から探究するとともに、地域社会や個人を実践的に支援する専門家の育成を目的とする。 【臨床心理学専修】 他者の理解や援助を学問と実践の両輪で探求する。 【現代社会学専修】 現代世界におけるあらゆる社会を幅広く対象とする。 【教育学専修】 教育学、社会教育学、博物館学、図書館情報学における専門的・実践的調査研究と各領域を横断した総合的教育学の追究。	→ P.78

日本文学専攻

● 人材養成その他の教育研究上の目的

日本文学専攻は、古典から現代までの日本文学全般を多様な視座から究明するとともに、その統一の把握を目指す。従来の文献研究・テキスト批評を堅固な基礎としつつ、歴史に対する幅広い関心を持って新しい研究領域を切り開き、文学と社会の関連を明らかにする。このような実践を通して、日本文学の専門的研究者・教育者及び日本文化に関する高度な素養を身につけた教養人の育成を行う。

● 2025年度 修士論文テーマ

- ▶ 『源氏物語』紫の上の死の表現
—「明け果つるほどに消え果てたまひぬ」考—
- ▶ 『萬葉集』笠金村の「類型」と「個性」
- ▶ 謡曲における和歌引用の実態—「月やあらぬ」歌を例に—
- ▶ 継承される「紫の雲」の語
- ▶ 宮本百合子作品における女性の関係
—『伸子』と『二つの庭』を中心に—
- ▶ 〈見る主体〉から〈見せる主体〉へ
—谷崎潤一郎文学における映像文化の想像力—
- ▶ 村田沙耶香の作品における性の探求—性的成熟から快楽の主体へ—
- ▶ 遠藤周作の文学における聖句の使い方—加筆された聖句を中心に—
- ▶ 曹植「洛神賦」の作意について

● カリキュラム一覧

主要科目

日本古代文学演習ⅠA・ⅠB・ⅠC・ⅠD
 日本古代文学演習ⅡA・ⅡB・ⅡC・ⅡD
 日本中世文学演習A・B・C・D
 日本近世文学演習A・B・C・D
 日本近代文学演習ⅠA・ⅠB・ⅠC・ⅠD
 日本近代文学演習ⅡA・ⅡB・ⅡC・ⅡD
 日本近代文学演習ⅢA・ⅢB・ⅢC・ⅢD
 国語学演習A・B・C・D
 漢文学演習A・B・C・D
 日本文化学演習A・B・C・D

特修科目

日本古代文学特論ⅠA・ⅠB
 日本古代文学特論ⅡA・ⅡB
 日本中世文学特論A・B
 日本近世文学特論A・B
 日本近代文学特論ⅠA・ⅠB
 日本近代文学特論ⅡA・ⅡB
 日本近代文学特論ⅢA・ⅢB
 国語学特論A・B
 日本文学特殊講義ⅠA・ⅠB
 日本文学特殊講義ⅡA・ⅡB
 日本文学史特論A・B
 漢文学特論A・B
 日本文化学特論A・B
 日本演劇特論ⅠA・ⅠB
 日本演劇特論ⅡA・ⅡB
 人文社会学研究特論ⅠA・ⅠB～ⅤA・ⅤB
 文研学際研究入門ⅠA・ⅠB～ⅤA・ⅤB
 人文社会科学のためのデータサイエンスとAI

特定科目

日本文学特別指定講義Ⅰ
 日本文学特別指定講義Ⅱ

※ 2026年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

● 院生からのメッセージ



岩田 陽平

IWATA Youhei
 日本文学専攻
 博士前期課程 2年

刺激的な環境で思う存分探求を

一口に日本文学といっても上代から近現代にいたるまでの日本文学、国語学、日本文化学、漢文学と多岐にわたる分野を専門とする学生・教員が集まっています。ゼミや授業では教員からの確かな助言をいただけるだけでなく、異なる興味関心を持つ仲間と率直に意見をぶつけ合うことで、新たな視点を得ることができます。

また、思い悩んでいるときにふとした会話がヒントとなることもあります。幅広い関心を持つ院生・教員が集まる刺激的な環境で、自身の興味を思う存分深めたい方をお待ちしています。

博士前期課程
 Master's Program

Q 師事している教員は？ A 小野 正弘 教授

国語学の研究室では日本語を語学の側面から研究しています。対象となる資料は文学作品に限られていません。日本語で書かれていれば国語学の対象となります。ゼミでは研究発表を通して、資料選定や分析方法の妥当性について議論します。単に知識や指導を受けるのではなく、学び合いができる場です。

教員情報 P.82

英文学専攻

●● 人材養成その他の教育研究上の目的

英文学専攻博士前期課程は、4専修から構成される。英文学・米文学・英語学専修では、各分野についての専門知識を身につけて後期課程に進学し、研究者への道を歩む人材の養成を目的とし、英語教職専修では、高度な専門知識を有する中高英語教員の養成を目指す。博士後期課程は、英文学・米文学・英語学の3専修から構成され、身につけてきた知識を基盤に各自の研究を進展させて博士論文を完成させ、その後も自立した研究を積み重ねていく人材を育てる。

●● 2025年度 修士論文テーマ

- ▶ 日本人英語学習者の困難音産出における環境効果
— /r, l, θ, ð, f, v / の語頭・語末および母音文脈による変異 —
- ▶ 日本人英語学習者における発音の過剰修正

●● カリキュラム一覧

主要科目

英文学演習ⅠA・ⅠB・ⅠC・ⅠD
英文学演習ⅡA・ⅡB・ⅡC・ⅡD
英文学演習ⅢA・ⅢB・ⅢC・ⅢD
英文学演習ⅣA・ⅣB・ⅣC・ⅣD
英文学演習ⅤA・ⅤB・ⅤC・ⅤD
米文学演習ⅠA・ⅠB・ⅠC・ⅠD
米文学演習ⅡA・ⅡB・ⅡC・ⅡD
米文学演習ⅢA・ⅢB・ⅢC・ⅢD
米文学演習ⅣA・ⅣB・ⅣC・ⅣD
米文学演習ⅤA・ⅤB・ⅤC・ⅤD
英語学演習ⅠA・ⅠB・ⅠC・ⅠD
英語学演習ⅡA・ⅡB・ⅡC・ⅡD
英語学演習ⅢA・ⅢB・ⅢC・ⅢD

特修科目

英文学特論ⅠA・ⅠB
英文学特論ⅡA・ⅡB
英文学特論ⅢA・ⅢB
米文学特論ⅠA・ⅠB
米文学特論ⅡA・ⅡB
米文学特論ⅢA・ⅢB
英語学特論A・B
英語教職特論ⅠA・ⅠB
英語教職特論ⅡA・ⅡB
英語教職特論ⅢA・ⅢB
英語教職特論ⅣA・ⅣB
人文社会学研究特論ⅠA・ⅠB～ⅤA・ⅤB
文研学際研究入門ⅠA・ⅠB～ⅤA・ⅤB
人文社会科学のためのデータサイエンスとAI

特定科目

英文学特別指定講義Ⅰ
英文学特別指定講義Ⅱ

※ 2026年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

●● 院生からのメッセージ



滝山 大輝
TAKIYAMA Daiki
英文学専攻
博士前期課程 2年

好奇心の探求

大学院進学という選択は決して容易なものではありません。けれど、そんな気負うものでもありません。学部生での読書・卒論などで自分の興味を探っていくなかで、どこか惹かれる作品や作家があれば、進学のステージは整っているのではないのでしょうか。主に自分との戦いとなる大学院生活ですが、目まぐるしく変化する現代社会において、自らの将来を捉えなおし、何を支えとしてこの先の人生を歩んでいくかを思案、追求していく良い機会になると思います。

Q 師事している教員は？ A ワトソン・アレックス 教授

研究室では、主に予め読んでおいた文献を用いて授業時に意見交換を行っています。映像作品やテキストを使うなかで、学生の意見や質問を自由に投げかけられるため、アウトプットとともに自分の見聞を広げられる貴重な環境になっています。

教員情報 P.83

仏文学専攻

●● 人材養成その他の教育研究上の目的

フランスとその文化は、一方ではギリシャ-ローマ、他方ではユダヤ-キリスト教の伝統に深く根ざしながら、常に様々な分野で斬新な創造を続けてきた。その役割は今も縮小してはならず、EU及び世界50ヶ国に及ぶフランス語圏の中心として、そこから学ぶべきものが多々ある。そのような状況の中で、仏文学専攻では、高度なフランス語運用力、フランス文化・思想・文学に関する広範な知識、繊細かつ大胆な国際感覚と実践力を備えた研究者、社会人、文化人の育成を目指す。

●● 2024年度 修士論文テーマ

- ▶18世紀フランスの定期市芝居における身体と風刺性
—『人食い鬼の王アルルカン』の分析をもとに—

(2025年度 提出者なし)

●● カリキュラム一覧

主要科目

近代仏文学演習ⅠA・ⅠB・ⅠC・ⅠD
近代仏文学演習ⅡA・ⅡB・ⅡC・ⅡD
近代仏文学演習ⅢA・ⅢB・ⅢC・ⅢD
近代仏文学演習ⅣA・ⅣB・ⅣC・ⅣD
現代仏文学演習ⅠA・ⅠB・ⅠC・ⅠD
現代仏文学演習ⅡA・ⅡB・ⅡC・ⅡD
現代仏文学演習ⅢA・ⅢB・ⅢC・ⅢD
現代仏文学演習ⅣA・ⅣB・ⅣC・ⅣD
仏語学演習A・B・C・D

特修科目

近代仏文学特論ⅠA・ⅠB
近代仏文学特論ⅡA・ⅡB
近代仏文学特論ⅢA・ⅢB
近代仏文学特論ⅣA・ⅣB
近代仏文学特論ⅤA・ⅤB
現代仏文学特論ⅠA・ⅠB
現代仏文学特論ⅡA・ⅡB
現代仏文学特論ⅢA・ⅢB
現代仏文学特論ⅣA・ⅣB
仏語学特論A・B
フランス文学理論・思想研究Ⅰ・Ⅱ
人文社会学研究特論ⅠA・ⅠB～ⅤA・ⅤB
文研学際研究入門ⅠA・ⅠB～ⅤA・ⅤB
人文社会科学のためのデータサイエンスとAI

特定科目

仏文学特別指定講義Ⅰ
仏文学特別指定講義Ⅱ

※ 2026年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

●● 院生からのメッセージ



村上 凜
MURAKAMI Rin
仏文学専攻
博士前期課程 2年

成長できる環境

私は18世紀フランスの劇作家、マリヴォーの戯曲を研究しています。学部3年生のときに、協定留学でフランスに留学した際に、フランスの文学や文化の奥深さに触れ、学部の4年間でフランス文学から離れてしまうのは物足りないと思い、大学院への進学を決めました。大学院では、学部のとく比べて授業数は少ないものの、授業が少人数で行われるため、発言が求められる回数も多く、課題の難易度も高いため、大変ですが、とても成長できる環境だと思います。

Q 師事している教員は？

A 奥 香織 教授

演習の授業では主に、担当される先生の専門分野の文献を読みます。フランス文学の枠だけに収まらず、さまざまな事柄について考えるので、物事を多角的に見る力がつきます。また、フランス語で行われる授業も複数あるので、授業に参加しながら、フランス語力を向上させることもできます。

教員情報 P.84

独文学専攻

●● 人材養成その他の教育研究上の目的

ドイツ文学を歴史的コンテキストと現代的アクチュアリティを視野に入れながら研究することによって、ドイツの文化と社会についての理解を深め、日独の交流に役立つような人材を養成することを目的とする。このためには、学術的な討論ができる程度にドイツ語の運用能力を高め、同時にまた、日本のことをドイツ語で語るができるような日本の文化についての深い教養を培う。

●● 2025年度 修士論文テーマ

▶ドイツへ避難したシリア難民が抱える不安と希望を3つの観点から考察する —統合への道筋—

●● カリキュラム一覧

主要科目

近代独文学演習ⅠA・ⅠB・ⅠC・ⅠD
近代独文学演習ⅡA・ⅡB・ⅡC・ⅡD
現代独文学演習ⅠA・ⅠB・ⅠC・ⅠD
現代独文学演習ⅡA・ⅡB・ⅡC・ⅡD
現代独文学演習ⅢA・ⅢB・ⅢC・ⅢD
ドイツ文芸思想史演習A・B・C・D
独語学演習A・B・C・D

特修科目

近代独文学特論ⅠA・ⅠB
近代独文学特論ⅡA・ⅡB
現代独文学特論ⅠA・ⅠB
現代独文学特論ⅡA・ⅡB
ドイツ文芸思想史特論A・B
ドイツ古典文学特論A・B
人文社会学研究特論ⅠA・ⅠB～ⅤA・ⅤB
文研学際研究入門ⅠA・ⅠB～ⅤA・ⅤB
人文社会科学のためのデータサイエンスとAI

特定科目

独文学特別指定講義Ⅰ
独文学特別指定講義Ⅱ

※ 2026年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

●● 院生からのメッセージ



熊谷 明日華
KUMAGAI Asuka
独文学専攻
博士前期課程 2年

「あたりまえ」を問い直す思考

大学院進学を決めたのは、自分の常識や「あたりまえ」を形作るものを知りたいと思ったからです。学部ではドイツ語だけでなく文学も学び、文化や時代が違えば自分の「あたりまえ」が変わることに気がきました。大学院は少人数授業で質問しやすく、意見を表現できる環境です。他の院生の考えに刺激を受け、自分と向き合いながら学びを深めたい方に最適だと思います。

Q 師事している教員は？

A 岡本 和子 教授

独文学専攻では、院生の関心を軸に授業が進みます。研究テーマだけでなく気になる作家や作品にも触れ、幅広く学ぶことができます。先生方と学生の雰囲気も穏やかで、安心して知識を深められる環境です。

演劇学専攻

●● 人材養成その他の教育研究上の目的

演劇学専攻では、博士前期課程においては、高度な専門的知識を修得した研究者の養成に加え、幅広く劇作家、演出家、戯曲・演劇の歴史的・理論的著作の翻訳家、演劇制作者などを目指す人材の養成を目的とする。博士後期課程においては、課程博士号の取得を目指す者を含めて、演劇学研究者を目指す人材の養成を目的とする。

●● 2025年度 修士論文テーマ

- ▶ アリストファネス戯曲『女の平和』の戦後日本における受容について
- ▶ 明治・大正期の歌舞伎における曽我狂言の変容

●● カリキュラム一覧

主要科目

演劇学演習ⅠA・ⅠB・ⅠC・ⅠD
 演劇学演習ⅡA・ⅡB・ⅡC・ⅡD
 演劇学演習ⅢA・ⅢB・ⅢC・ⅢD
 日本演劇演習ⅠA・ⅠB・ⅠC・ⅠD
 日本演劇演習ⅡA・ⅡB・ⅡC・ⅡD

特修科目

演劇学特論ⅠA・ⅠB
 演劇学特論ⅡA・ⅡB
 日本演劇特論ⅠA・ⅠB
 日本演劇特論ⅡA・ⅡB
 西洋劇文学史特論ⅠA・ⅠB
 西洋劇文学史特論ⅡA・ⅡB
 西洋劇文学史特論ⅢA・ⅢB
 言語芸術論特論A・B
 人文社会学研究特論ⅠA・ⅠB～ⅤA・ⅤB
 文研学際研究入門ⅠA・ⅠB～ⅤA・ⅤB
 人文社会科学のためのデータサイエンスとAI

特定科目

演劇学特別指定講義Ⅰ
 演劇学特別指定講義Ⅱ

※ 2026年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

●● 院生からのメッセージ



柿本 遊季

KAKIMOTO Yuki
 演劇学専攻
 博士前期課程 2年

「演劇」を専門的に学ぶ環境

私はロシア演劇史、特に20世紀初頭のロシアで活躍した劇作家・演出家を研究しています。授業では、古今東西さまざまな演劇文化を専門とする学生が共に英語文献の講読を行なっています。講読は、授業の参加者による双方向のコミュニケーションを通して進められます。そのため、自身の専門領域にとらわれず、他の地域・時代の演劇文化に視野を広げて意見を持つことが求められます。大学院での学びには、自身の研究を深めると同時に、多角的に「演劇」を捉える可能性が広がっています。

Q 師事している教員は？

A 伊藤 愉 准教授

ゼミでは主にロシア語文献の講読と、執筆中の論文についての進捗報告を行っています。講読では、専門的な内容のコンテキストを理解すると同時に、ロシア語の文構造や単語のニュアンスも一つひとつ丁寧に確認しながら精読します。ロシア演劇研究のために必要な能力の土台作りにも、地道に取り組んでいます。

教員情報 P.85

文芸メディア専攻

●● 人材養成その他の教育研究上の目的

文芸メディア専攻は、「メディア環境の中の文芸」という立場を設定し、メディアとは何かという問題意識を重く踏まえた上で、「文芸というメディア」及び「メディアとしての文芸」の視座から文芸研究・メディア研究に取り組む。文芸への深い知識と教養を兼ね備えながら、言語テキストとそれが置かれたメディア環境の相互的関連を視野に取る専門的知識人の育成を目指す。

●● 2025年度 修士論文テーマ

- ▶ 都市を写す／日常を刻む—森山大道における視覚の記録—
- ▶ ポストモダニズム文化形式としての昭和ノスタルジア—City Pop復興現象を中心に—
- ▶ 「二重」の隠蔽—村上春樹『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』論—

●● カリキュラム一覧

主要科目

文芸メディア演習ⅠA・ⅠB・ⅠC・ⅠD
文芸メディア演習ⅡA・ⅡB・ⅡC・ⅡD
文芸メディア演習ⅢA・ⅢB・ⅢC・ⅢD
文芸メディア演習ⅣA・ⅣB・ⅣC・ⅣD
文芸メディア演習ⅤA・ⅤB・ⅤC・ⅤD
文芸メディア演習ⅥA・ⅥB・ⅥC・ⅥD

特修科目

文芸メディア特論ⅠA・ⅠB
文芸メディア特論ⅡA・ⅡB
文芸メディア特論ⅢA・ⅢB
文芸メディア特論ⅣA・ⅣB
文芸メディア特論ⅤA・ⅤB
文芸メディア特論ⅥA・ⅥB
日本文芸史特論A・B
表象文化特論A・B
表現創作特論A・B
メディア分析特論A・B
近現代文芸特論A・B
伝承文学特論A・B
人文社会学研究特論ⅠA・ⅠB～ⅤA・ⅤB
文芸学際研究入門ⅠA・ⅠB～ⅤA・ⅤB
人文社会科学のためのデータサイエンスとAI

特定科目

文芸メディア特別指定講義Ⅰ
文芸メディア特別指定講義Ⅱ

※ 2026年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

●● 院生からのメッセージ



張 卓傑
ZHANG Zhuojie
文芸メディア専攻
修士課程 2年

「好き」を「知」へ

「大学院は学部での学びや興味あるものを更に深めたい場所だ」。自分はそう思います。私はSNSで活躍している読書インフルエンサーを対象とし、彼らが本や読書の世界にどんな影響をもたらすのかを考えています。明治大学大学院文芸メディア専攻のどの先生も親切で優しいです。生活の面では頼れる先輩もいます。知的好奇心を満たす純粋な喜びを、あなたもここで見つけませんか。

修士課程 Master's Program

Q 師事している教員は？ A 相良 剛 講師

私は相良研究室に所属し、主に出版論と読書論に関する課題を研究しています。紙媒体と電子媒体を比較、分析し、新たな発見につながっています。演習では、研究で気がついたことだけではなく、今流行っていることについても気軽に交流できます。コミュニケーションを通じて新しい発見を得て、研究への理解を深めることができます。

教員情報 P.85

史学専攻

●● 人材養成その他の教育研究上の目的

史学専攻

史学専攻は、日本史学・アジア史・西洋史学・考古学の4専攻から構成され、研究素材である各種史資料の分析に基礎を置く実証主義と歴史を生み出したフィールドを重視する実践主義を教育・研究の柱とし、学際的・国際的視点を伝統的に重視している。近年は、専攻が属す研究科の特性を生かし、文学研究科諸専攻との学際協力も緊密である。その研究・教育を通じ、史学専攻は、歴史学の専門研究者及び教育者並びに豊かな歴史への素養を身につけた高度教養人を育成することを目的とする。

日本史学専修

日本史学専修は、日本の歴史を多様な視座から究明するとともに、その統一的把握を目指す。その研究・教育は、各種史資料の批判的検討やフィールドワーク等による実証を基礎とするとともに、視野を隣接諸科学にも広げ、また、国際的視野に立つことを目指す。日本史学専修ではそのような教育・研究の実践を通じ、日本史学の専門的研究者・教育者及び日本史学の高度な素養を身につけた教養人の育成を目標とする。

アジア史専修

アジア史専修は、中国・朝鮮の東アジア史研究を大きな柱に、西アジア史をもう一つの柱に据え、文献資料や出土史料の分析だけでなく、現地調査や外国研究者との交流も積極的に推進して研究を進める。博士前期課程ではアジア諸地域に対する深い学識を持った高度教養人を、博士後期課程では国際的発信力を持った研究者を養成する。

西洋史学専修

西洋史学専修は、人間社会の歴史的探求をその本旨とするが、中でも西洋の古代から現代までを見通してそれを行う。また、世界に対する幅広い見識と歴史についての深い理解と教養を身につけて、それを基に自分自身をしっかりと表現でき、人類の発展に寄与できる人間形成を目指す。

考古学専修

考古学専修は、遺跡・遺物といった物質資料に基づき文字の無い時代を含めた歴史の再構築を目指す学問である。その教育・研究は、発掘・測量調査又は遺物実測などによる現場性・実証性を基礎に置くと同時に、視野を隣接諸分野・諸外国に広げ、考古学的研究成果を歴史学の大きな枠組みの中に位置づけることを目指す。本専修では地道な基礎研究に加えて、学際的・国際的研究活動に参加することを通して、考古学の専門的研究者、地方自治体の文化財担当者、博物館学芸員、教育者及び考古学の高度な素養を身につけた教養人の育成を目的とする。

●● カリキュラム一覧

主要科目

【日本史学専修】

日本史学研究ⅠA・ⅠB・ⅠC・ⅠD
日本史学研究ⅡA・ⅡB・ⅡC・ⅡD
日本史学研究ⅢA・ⅢB・ⅢC・ⅢD
日本史学研究ⅣA・ⅣB・ⅣC・ⅣD
日本史学研究ⅤA・ⅤB・ⅤC・ⅤD
日本史学研究ⅥA・ⅥB・ⅥC・ⅥD
日本史学研究ⅦA・ⅦB・ⅦC・ⅦD
日本史学研究ⅧA・ⅧB・ⅧC・ⅧD
日本史学研究ⅨA・ⅨB・ⅨC・ⅨD
日本史学研究ⅩA・ⅩB・ⅩC・ⅩD

【アジア史専修】

アジア史研究ⅠA・ⅠB・ⅠC・ⅠD
アジア史研究ⅡA・ⅡB・ⅡC・ⅡD
アジア史研究ⅢA・ⅢB・ⅢC・ⅢD
アジア史研究ⅣA・ⅣB・ⅣC・ⅣD
アジア史研究ⅤA・ⅤB・ⅤC・ⅤD

【西洋史学専修】

西洋史学研究ⅠA・ⅠB・ⅠC・ⅠD
西洋史学研究ⅡA・ⅡB・ⅡC・ⅡD
西洋史学研究ⅢA・ⅢB・ⅢC・ⅢD
西洋史学研究ⅣA・ⅣB・ⅣC・ⅣD
西洋史学研究ⅤA・ⅤB・ⅤC・ⅤD
西洋史学研究ⅥA・ⅥB・ⅥC・ⅥD

【考古学専修】

考古学研究ⅠA・ⅠB・ⅠC・ⅠD
考古学研究ⅡA・ⅡB・ⅡC・ⅡD
考古学研究ⅢA・ⅢB・ⅢC・ⅢD
考古学研究ⅣA・ⅣB・ⅣC・ⅣD
考古学研究ⅤA・ⅤB・ⅤC・ⅤD

特修科目

日本史特論ⅠA・ⅠB
日本史特論ⅡA・ⅡB
文化史特論A・B
思想史特論A・B
アジア史特論ⅠA・ⅠB
アジア史特論ⅡA・ⅡB
西洋史特論ⅠA・ⅠB
西洋史特論ⅡA・ⅡB
考古学特論ⅠA・ⅠB
考古学特論ⅡA・ⅡB
考古学特論ⅢA・ⅢB
考古学フィールドワークA・B
人文社会学研究特論ⅠA・ⅠB～ⅤA・ⅤB
文研学際研究入門ⅠA・ⅠB～ⅤA・ⅤB
人文社会科学のためのデータサイエンスとAI

特定科目

史学特別指定講義Ⅰ
史学特別指定講義Ⅱ

※ 2026年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

2025年度 修士論文テーマ [抜粋]

■ 日本史学専修

- ▶ 日中両国の壬辰戦争研究の共通と相違
- ▶ 明治天皇の軍事的役割と軍事思想
— 明治後期陸海軍対立への介入を中心に—
- ▶ 現代中国における反日感情の源流とその変容
- ▶ 明治中後期における医療の近代化と患者の受療行動に関する研究
— 在日清国留学生と栃木県塩谷郡住民を対象として—
- ▶ 富山藩十村に関する基礎研究
— 城下町に置かれた中間支配機構の執務場所について—
- ▶ 近世後期における相模川下流部の流域治水体制
- ▶ 平安時代における貴族の儀式不参と儀式運営の変化について
- ▶ 薩摩島津氏における鉄砲使用の実態

■ 西洋史学専修

- ▶ 中近世ブルターニュの歴史叙述と地域アイデンティティ
— 『ブルターニュ大年代記』と『ブリトン人の歴史と年代記の集成』との比較から—

■ アジア史専修

- ▶ オスマン帝国における近代国籍概念と国籍法の形成
— 前近代外交制度の変容と問題化—
- ▶ ムガル帝国第3代君主アクバルの王権におけるノウルーズ祝祭の機能
- ▶ 植民地朝鮮における朝鮮簡易生命保険制度の導入と展開
- ▶ 1950年代、在台湾米国人コミュニティに関する研究—在台湾米国人の個々人の台湾(中華民国)社会での生活と境遇と心境を中心に—
- ▶ 近代漢口におけるタマゴ加工品の製造と輸出について
- ▶ 日本占領下の華中の器械製糸業の統制構築と崩壊
— 1937～41年の無錫を対象として—
- ▶ 日清戦争から見る近代メディアの発展と役割
— 『申報』と『朝日新聞』を中心に—
- ▶ 『事林広記』梅溪書院本について—天文類と家礼類の比較から—
- ▶ 山東地方志における三月十九日太陽信仰の検討
— 江南地域研究との対照を手がかりに—

■ 考古学専修

- ▶ 出現期古墳の葺石—三層構造の分析を通じて—
- ▶ 弥生時代・壺再葬墓における土器埋納法の研究
- ▶ 後期旧石器時代前半期における人類の地域的環境適応
— 南九州地域を対象として—
- ▶ 房総地域における石枕副葬の意義
- ▶ 儀礼用土器の共有と古墳の成立
— 古墳出現期の上毛野における小型精製器種の分析から—

史学専攻

● 院生からのメッセージ



菊地 世南

KIKUCHI Sena
史学専攻
日本史学専修
博士前期課程 2年

研究でつながる交流の輪

私は中世後期の東国、とりわけ鎌倉公方・古河公方権力の展開について研究しています。大学院では、積極的に自らの課題に取り組む姿勢が求められます。その際、研究活動を通して大学内外で出会った方々との交流の輪は非常に大切です。同じ専門、あるいは全く違う専門の方々との交流を通して、自分ひとりでは気づくことのできない多くの学びを得ることができます。明治大学では、そうした交流の輪を広げるためのプログラムなども充実しています。ぜひ、大学院で共に学んでいきましょう！

博士前期課程
Master's Program

Q 師事している教員は？ A 高橋 一樹 教授

研究室では、鎌倉時代の公家の日記をテキストとして輪読しています。留学生や大学外からの参加者も多く、多様な視点から活発な議論が行われています。また、半年に1回ほど、普段テキストとして読んでいる日記の原本調査を国立歴史民俗博物館で行っています。これは、実際に中世史料に触れることのできる貴重な機会となっています。

教員情報 P.85



今井 禎

IMAI Tadashi
史学専攻
アジア史専修
博士前期課程 2年

多様な視点から知識を深める

私は初期イスラーム時代のアラビア半島における偶像崇拜と血縁関係を主体とした社会集団に関して研究を行っています。大学院での授業は他の院生や先生方と議論を交わすゼミ形式が基本で、交流を通じて自身の研究を深めることと同時に知識を広げることができます。また院生共同研究室や大学図書館を自由に利用することができますので、自身に合った環境で研究を行えます。大学院でさらに研究を続けたいと考えている方、共に知識を深め、学んでいきましょう。

博士前期課程
Master's Program

Q 師事している教員は？ A 江川 ひかり 教授

研究室では、西アジアを中心としたイスラーム史が研究対象となっています。在籍している学生が専門に研究している時代や地域、テーマは多様であり、扱う史料も異なっています。そのため、研究室では英語の論文を輪読しています。また研究報告も行っています。その際には、多様な視点から意見が交わされ、新たな知見をもたらしてくれます。

教員情報 P.86



直井 大河

NAOI Taiga
史学専攻
西洋史学専修
博士後期課程 3年

充実した研究環境で研究ができる喜び

私は、国民社会主義（ナチ）期ウィーンにおける人種政策とそれに対する抵抗運動を研究しています。進学の決め手は2つあります。第一に、西洋史学専修は、近現代オーストリア史を専門的に研究できる数少ない貴重な場だからです。そして第二に、外国史研究は洋書購入や史料調査、留学など、多くのお金を必要としますが、文学研究科には、研究費を支援してくれる手厚い制度が数多くあるからです。研究環境も充実しており、例えば博士後期課程の院生には自分専用の研究デスクを持つことができます。

博士後期課程
Doctoral Program

Q 師事している教員は？ A 水野 博子 教授

水野博子先生のゼミでは、講読と研究報告を行います。講読では、ドイツ語圏の国民論に関する歴史学文献を読みます。言葉の意味を徹底的に調べ、正確に訳す力と読み込み力が鍛えられます。研究報告は複数回実施され、白熱した議論が交わされます。水野ゼミの最大の魅力は、全員の意見が尊重され、気軽に話し合うことができる点です。

教員情報 P.86



川村 佳苗

KAWAMURA Kanae
史学専攻
考古学専修
博士前期課程 2年

「考えて生きていく」ための時間

考古学は遺物を観察して得られた情報をもとに分析を行います。研究室にはその一連の過程を実践するための環境が整っています。遺物は必ずしも人間活動の痕跡を明瞭に留めているとは限りませんが、わからないことと誠実に向き合い、わかることを真摯に積み重ねた先達のおかげで今の考古学が存在します。よりよい社会を作るものは詭弁と詐術ではなく、たゆまず悩み、真剣に思考することです。一度きりの人生を深く考えて生きてみたいと思った皆さまと、大学院で出会えることを楽しみにしております。

博士前期課程
Master's Program

Q 師事している教員は？ A 佐々木 憲一 教授

ゼミでは古墳時代を対象とした研究と発表を行っています。ゼミ所属学生による発表のほかに、考古学の方法論や考古学史についての専門的な講義を受けることもできます。古墳時代以外の時代を対象に研究している方も、たくさんの方の研究の手掛かりを得ることができる場だと思います。

教員情報 P.87

地理学専攻

●● 人材養成その他の教育研究上の目的

地理学専攻は、グローバルな空間的視野を重視しつつ、都市や村落及びその複合体の地域構造を、社会・文化・経済・産業・行政・自然条件等の観点から実証的に探究する能力を持つ人材の育成を目的とする。その方策として、深い専門知識獲得のための体系的な学習指導を徹底し、かつ、フィールドワークによる継続的な実地教育と研究指導を実践する。

●● 2025年度 修士論文テーマ

- ▶空間的視点からみる中国系多国籍企業の日本進出—立地行動の変化に着目して—
- ▶岐阜県における技能実習生のトランスナショナルなコミュニティと主体的実践—バーチャル空間と現実世界の双方に着目して—

●● カリキュラム一覧

主要科目

自然地理学演習ⅠA・ⅠB・ⅠC・ⅠD
自然地理学演習ⅡA・ⅡB・ⅡC・ⅡD
人文地理学演習ⅠA・ⅠB・ⅠC・ⅠD
人文地理学演習ⅡA・ⅡB・ⅡC・ⅡD
人文地理学演習ⅢA・ⅢB・ⅢC・ⅢD
地誌学演習ⅠA・ⅠB・ⅠC・ⅠD
地誌学演習ⅡA・ⅡB・ⅡC・ⅡD
地誌学演習ⅢA・ⅢB・ⅢC・ⅢD
地理学合同演習A・B・C・D

特修科目

自然地理学特論ⅠA・ⅠB
自然地理学特論ⅡA・ⅡB
人文地理学特論ⅠA・ⅠB
人文地理学特論ⅡA・ⅡB
地誌学特論ⅠA・ⅠB
地誌学特論ⅡA・ⅡB
地理学フィールドワークA・B
人文社会学研究特論ⅠA・ⅠB～ⅤA・ⅤB
文研学際研究入門ⅠA・ⅠB～ⅤA・ⅤB
人文社会科学のためのデータサイエンスとAI

特定科目

地理学特別指定講義Ⅰ
地理学特別指定講義Ⅱ

※2026年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

●● 院生からのメッセージ



菅原 至
SUGAWARA Itaru
地理学専攻
博士後期課程 3年

共に研鑽しましょう！

私は近代日本の「南洋」の島々における文化接触と脱植民化について研究しています。経費の掛かるフィールド調査は、明治大学の手厚い研究助成制度に支えられています。院生の専門領域や研究対象は多様ですが、事実の記述にとどまらない批判的分析を目指して共に研鑽しています。近年では他大学からの進学者も少なくありません。大学によって地理学教室の強みや雰囲気、研究環境は大きく異なるので、比較検討のうえで明治大学を選んでいただくと嬉しいです。進学相談もお待ちしています！

Q 師事している教員は？ A 大城 直樹 教授

地理学教室は普段から一体となって活動しています。所属以外のゼミへの出席は特別なことではありませんし、全教員・院生が一堂に会する合同演習での研究報告は、幅広い知見から助言を頂く機会になっています。また、学部生向けの野外実習のいくつかは、院生中心で運営します。多忙な院生生活ですが、明治の地理学教室は豊かで刺激的な場所です。

教員情報 P.87

臨床人間学専攻

●● 人材養成その他の教育研究上の目的

臨床人間学専攻

今日の人間社会は、政治・経済・文化・教育の構造的変化を伴う未曾有の変動期を迎え、既成の価値観や人間関係の在り方を根底から揺るがす変化と混乱の事態に直面している。臨床人間学専攻は、現代社会が直面するこうした状況における心理・社会的危機の克服に向けて、個々の地域社会や個人を実践的に支援する専門家及び公的セクターで貢献する実践者を育成するとともに、直面する危機的状況のメカニズムを解明するための研究者を育成することを目的とする。

臨床心理学専修

臨床心理学専修は、今日の社会において緊急性の高いニーズである「心のケア」、すなわち、うつ病や不安障害等の心の病気、不登校やいじめ、無気力等の学校不適応、育児ストレス、児童虐待、家庭内暴力等の家族関係の問題など、あらゆる世代の個人及び様々な集団において生じる心理・社会的諸現象への専門的対処に直接的かつ具体的にアプローチする臨床心理学の専門家の養成と実践的な研究の推進を目指す。

現代社会学専修

現代社会学専修は、地球温暖化をはじめとする環境や生命の危機、グローバル化と情報化にともなう政治・経済・文化の構造的変化と格差拡大などの新たな問題、また世界的な人権意識の向上、差別解消や格差是正への要求の高まりなどをかかえ、社会システムのあり方を、持続可能でより平等で人権が尊重されるものに根底から作り変えるべき重要な地点にある。現代社会学専修は、現代社会の危機や新たな社会的問題の克服と、よりよい社会の創生に向けて、複雑な状況のメカニズムを解明する研究者と、具体的な活動に取り組む専門家および実践者を育成することを目的とする。

教育学専修

教育学専修は、多文化共生社会、およびデジタルアーカイブを主要な構成要素とする知識基盤社会における人間形成と生涯にわたる学びが重視される今日、「教育」という事象を教育現場と教育実践に焦点をあてつつ、教育学、社会教育学、博物館学および図書館情報学の4領域による横断的・多角的な教育研究をとおして、現代社会に求められる教育に関する幅広い知見と高度な専門知識を有した人材を育成するとともに、学校、公民館、博物館、図書館等の教育関係機関における教育実践を担う専門職の養成と再教育を目的としている。

●● カリキュラム一覧

※ 2026年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

専攻必修科目 臨床人間学総合演習 A～D	特定科目 臨床人間学特別指定講義Ⅰ 臨床人間学特別指定講義Ⅱ	特修科目(注) 人文社会学研究特論ⅠA・ⅠB～ⅤA・ⅤB 人文学際研究入門ⅠA・ⅠB～ⅤA・ⅤB 人文社会科学のためのデータサイエンスとAI
【臨床心理学専修】	【現代社会学専修】	【教育学専修】
専修必修科目 臨床心理学特論A・B 臨床心理面接特論Ⅰ(心理支援に関する理論と実践) 臨床心理面接特論Ⅱ 臨床心理基礎実習A・B 臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習Ⅰ)・臨床心理実習Ⅱ 臨床心理査定演習Ⅰ(心理的アセスメントに関する理論と実践Ⅰ) 臨床心理査定演習Ⅱ	専修必修科目 現代社会学総合演習A 現代社会学総合演習B 選択必修科目 現代社会学演習ⅠA・ⅠB 現代社会学演習ⅡA・ⅡB 現代社会学演習ⅢA・ⅢB 現代社会学演習ⅣA・ⅣB 現代社会学演習ⅤA・ⅤB	専修必修科目 教育学総合演習A 教育学総合演習B
選択必修科目 [A群] 心理学研究法特論(心理的アセスメントに関する理論と実践Ⅳ) 心理統計法特論(心理的アセスメントに関する理論と実践Ⅲ) [B群] 発達心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開Ⅱ) 人格心理学特論(心理的アセスメントに関する理論と実践Ⅱ) [C群] 社会心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開) 犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開) [D群] 精神医学特論Ⅰ(保健医療分野に関する理論と支援の展開Ⅰ) 心身医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開Ⅱ) 障害者(児)心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開Ⅰ) 健康心理学特論(心の健康教育に関する理論と実践) [E群] 心理療法特論 グループアプローチ特論 (家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践Ⅰ) コミュニティアプローチ特論 (家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践Ⅱ) 学校臨床心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開) 投映法特論A・B 臨床心理特別実習ⅠA・ⅠB(心理実践実習ⅡA・ⅡB) 臨床心理特別実習ⅡA・ⅡB(心理実践実習ⅢA・ⅢB)	選択科目 共生ネットワーク論 バイオポリティックス論 社会福祉論 NPO市民活動論 コミュニティビジネス論 コミュニティ人間関係論 コミュニティ・デザイン論 地域開発論 地方自治論	選択必修科目 A群(教育学領域) 教育学演習ⅠA～ⅠD 教育学演習ⅡA～ⅡD 教育学演習ⅢA～ⅢD 教育学演習ⅣA～ⅣD B群(社会教育学領域) 社会教育学演習ⅠA～ⅠD 社会教育学演習ⅡA～ⅡD C群(博物館学領域) 博物館学演習ⅠA～ⅠD 博物館学演習ⅡA～ⅡD D群(図書館情報学領域) 図書館情報学演習ⅠA～ⅠD 図書館情報学演習ⅡA～ⅡD 図書館情報学演習ⅢA～ⅢD
	(注) 臨床心理学専修と教育学専修は、修了に必要な単位数を含むことができません。	選択科目 A群(教育学領域) 教育システム論 思春期・青年期論 教師教育論 教育人間学 教育社会史特論 教授学習心理学特論 B群(社会教育学領域) 生涯学習特論 社会教育実践論 C群(博物館学領域) 博物館学特論 博物館マネジメント特論 博物館教育特論 博物館メディア論特論 地域博物館論特論 D群(図書館情報学領域) 図書館情報学特論 専門図書館特論 情報サービス特論 図書館経営特論 図書館文化特論 図書館情報メディア特論 E群(社会学領域：現代社会学専修設置選択科目)

2025年度 修士論文テーマ

■ 臨床心理学専修

- ▶ 児童養護施設職員における入所児童と「わかり合う」体験に関する質的研究 —相互主体的関係に基づく関係構築の様相—
- ▶ いじめが傍観者に与える心理的影響—混合研究法を用いた検討—
- ▶ 学校適応に困難を抱えるギフテッド児の保護者支援に関する検討
- ▶ 社交不安による回避行動の生起におけるコミットメントと変化のアジェンダの調整効果について
- ▶ 男女二元的でない性を生きる人々の精神的健康の検討 —ジェンダー・アイデンティティとスティグマの観点から—
- ▶ 完全主義認知が先延ばしに及ぼす影響の検討 —アクセプタンスの調整効果に着目して—
- ▶ 健康不安が精神的健康に及ぼす影響 —価値に沿った行動を調整変数、健康関連行動を媒介変数として—
- ▶ 児童期における援助要請の利益・コストの予期についての検討

■ 現代社会学専修

- ▶ 現代中国におけるオープンレーションシップの主要パートナー関係の維持メカニズムと実践
- ▶ 子どもの姓をめぐる世代間交渉—遼寧省大連市における社会調査に基づく分析—
- ▶ フェミニズム意識と性的権力関係の相互作用—SMを実践する中国人女性たちの事例—
- ▶ 外見管理の実践に関する研究:親密関係を有する女性同士に着目して
- ▶ テートDVの双方向性—暴力被害と加害が同一者である要因—
- ▶ 中国のネット空間における「男性被害者」ナラティブの構築と展開—三つのジェンダー対立事件に関するマノスフィアの言説の分析
- ▶ 地方公務員(一般行政職)のハラスメント —ミクロおよびメゾレベルの分析、考察、対策の提言—

■ 教育学専修

- ▶ 公共図書館における障害者サービスの理念と実践の接続関係 —全国調査に基づく分析—
- ▶ 歴史系博物館における映像展示の意図伝達 —映像の内容と設置環境の視点から—
- ▶ 地域博物館概念の再検討 —概念の広がり多角的な視点の可能性についての考察—
- ▶ 地域学習を主題とした博学連携とその実施意義の検討 —博物館の立場からの考察—
- ▶ 日本のミュージアムにおける包摂的課題の—検討 —性的マイノリティはいかに排除されてきたのか—
- ▶ 戦後日本における図書館複合施設の歴史的変遷への考察
- ▶ 道徳教育におけるマイノリティの扱いに関する比較研究 —日本と中国の中学校道徳教科書を中心に—
- ▶ 木村敏の人間学と思春期における自己に関する考察 —木村敏の思想の教育学転用可能性について—
- ▶ 博物館界による政治的働きかけの提案 —博物館法改正の経緯と国内外の事例を検討して—

臨床人間学専攻

● 院生からのメッセージ



中原 琉奈
NAKAHARA Runa
臨床人間学専攻
臨床心理学専修
博士前期課程 2年

質の高い実習と研究環境が整う院生生活

私は他大学で心理学を専攻し、さらに実践性のある臨床心理学を学びたいと思い、入学しました。明治大学では修士課程1年次から実習が始まり、さまざまな領域での臨床経験を得ることで、心理臨床家としての自分を成長させていくことができます。

それと並行して私は宗教2世に関心があり、カルト問題の心理学的支援について研究しています。修士研究では、異なる専門性をお持ちの教授方や周りの院生からの手厚い支えがあります。

このように明治大学では、充実した実習と研究を全うできます。

博士前期課程
Master's Program

Q 師事している教員は？

A 諸富 祥彦 教授

私が所属するゼミは定期的には開催されますが、希望すれば柔軟に時間を作って行われます。少人数だからこそ、各個人の研究の進捗を報告し合い、綿密に検討し合っています。

総合演習では所属ゼミの枠を超え、幅広い専門性を持った教員の方々から貴重なアドバイスを頂くことで、研究をさらに磨き上げることができます。

教員情報 P.88



城取 祐輝
SHIROTORI Yuki
臨床人間学専攻
現代社会学専修
博士前期課程 2年

好奇心に導かれ 刺激溢れる世界へ

学部時代にジェンダー研究に触れる中で、男性の生きづらさを研究する「男性学」に出会い、大学院でも研究を続けています。調べるほどに興味湧き上がり、研究を学部で終わりにするのがもったいないと思い、進学を決意しました。大学院は、学部以上に研究に関心や意欲を抱く人であふれています。レベルの高い学生内で繰り返し議論を重ね、お互いの研究や能力を研鑽し合う日々です。自分とは異なる研究テーマや専門に触れる機会が多く、量的にも質的にも豊かな刺激を得ることができます。

博士前期課程
Master's Program

Q 師事している教員は？

A 平山 満紀 教授

一口にジェンダーやセクシュアリティの分野と言っても、研究内容は性別間対立や性教育、親密性、フェミニズムとさまざまです。各々のテーマを足がかりとして、議論や文献の輪読、フィールドワーク等を経ながら、ジェンダーをはじめとする社会学分野に対する理解を深めています。研究の構想や修正には、教授の皆さまからの助言も大いに役立ちます。

教員情報 P.89



大瀧 拓実
OTAKI Takumi
臨床人間学専攻
教育学専修
博士後期課程 2年

深い思考力と強靱な精神を鍛えてみる

学部では西洋史学専攻に在籍し、博物館に関心が移ったため今の教育学専修へ進学して修了、約2年間の社会人を経験して出戻った現在は、「野外博物館」を研究対象に国内での発達背景を紐解きながら理論と実態を研究しています。大学院では明快な研究目的と主体的な取り組み姿勢が肝心ですが、その軸がブレないように自省することも重要です。また、膨大な情報を整理する訓練にもなります。これまで真剣に何かに取り組んだことのない人は大学院での研究に身を費やしてみるのも一興だと考えます。

博士後期課程
Doctoral Program

Q 師事している教員は？

A 駒見 和夫 教授

4つの学問領域がある教育学専修では自身の研究に対して他領域の先生からも意見を頂けるため、より多角的な分析が可能など利点があると思います。駒見先生のゼミでは自分の研究関心から調査・分析を行った博物館の実地見学報告をすることで、自身の考えや研究へのアプローチ方法を整理する訓練となっています。

教員情報 P.89

●● 近年の博士学位授与 [抜粋]

課程博士

学位の種類	論文タイトル	授与年度
博士(文学)	遠藤周作文学研究 ―ポストコロナリズムと移動の観点から―	2020年度
博士(文学)	The Reception History of Ferenc Molnár's 'Liliom' in Japan ―Translations and theatre adaptations―	2020年度
博士(文学)	野田秀樹作品における「神話」と「虚構」	2020年度
博士(史学)	大正・昭和期における日本陸軍の世論対策 ―陸軍省新聞班による対国内宣伝からみる陸軍の政治関与―	2020年度
博士(史学)	「満州国軍」に関する研究 ―日本による支配、利用およびその戦後―	2020年度
博士(史学)	明治維新期の藩政と国家 ―土佐藩を事例に―	2021年度
博士(史学)	佐々木惣一の憲法思想と国民国家 ―日本憲法の独自性と立憲主義の普遍性の間―	2021年度
博士(史学)	日独間の航空技術移転と日本航空機産業の自立化(1919～45年)	2021年度
博士(地理学)	ハワイ日本人移民の定着に関する文化地理学的研究 ―コナ・コーヒー・ベルトを事例に―	2021年度
博士(地理学)	九州におけるカルデラ形成噴火に伴う大規模火砕流堆積物からなる台地の形成過程に関する地形学的研究	2021年度
博士(史学)	明治から昭和戦前期における戸籍名の表記と音声 ―複名俗と一人一名制のあいだ―	2022年度
博士(史学)	南宋前期茶馬貿易史の研究	2022年度
博士(臨床人間学)	An Environmental Sociological Comparative Study on Analytical Perspectives of Environmental Justice and Recognition	2022年度
博士(文学)	『源氏物語』における仏教受容の研究 ―聖性の表象と陰影―	2023年度
博士(文学)	福永武彦におけるフィクションの方法 ―主体性の破壊と再構成の諸相―	2023年度
博士(史学)	戦間期における日本知識人のアメリカ認識 ―高木八尺と高柳賢三の言説分析からみる特徴と問題点―	2023年度
博士(史学)	13-14世紀モンゴル政権・地域社会と儒教 ―曲阜地域石刻の分析を通して―	2023年度
博士(史学)	土器の型式学に基づく南関東弥生後期社会の研究	2023年度
博士(文学)	「満州」植民地文学研究 ―移民、引揚げ文学における他者とジェンダーの観点から―	2024年度
博士(史学)	日本古代の戸籍制度と支配体系	2024年度
博士(史学)	中国人日本留学生に対する日中両国政府の管理 ―1920, 30年代における変化とその影響―	2024年度
博士(史学)	ルーンにおける政治権力の形成 ―ベルミの宣教師ステファンとヴォルガの河川賊ウシクイニクの活動に見るモスクワ=ノヴゴロド抗争―	2024年度
博士(史学)	古代日本における櫛文化と髪型	2024年度
博士(人間学)	簡略式 TAE の開発に関する研究 ―自己探索及びキャリア選択の支援法として―	2024年度
博士(文学)	堀辰雄研究 ―〈場〉の文学的想像力と戦中・戦後―	2025年度
博士(文学)	近代日本における『ハムレット』の女たち	2025年度
博士(史学)	明治期における薩摩閥の変遷と松方正義	2025年度
博士(史学)	戦後日本社会における戦争観形成に果たした空襲記録運動の役割 ―その社会教育的機能を中心に―	2025年度
博士(地理学)	東京圏における保育労働の需給と社会的再生産 ―労働者の実践からみた保育サービスの空間―	2025年度

論文博士

学位の種類	論文タイトル	授与年度
博士(文学)	大正期の翻訳オペラの研究 ―浅草オペラの興行、上演、演劇性を中心に―	2020年度
博士(文学)	演劇写真の誕生と展開 ―東京の役者、写真師、そしてメディア―	2020年度
博士(臨床人間学)	「生産の踏み車」論と「エコロジカル近代化」論の対立と相補性 ―環境・社会・ガバナンス(ESG)投資をめぐるグローバル環境ガバナンス―	2022年度
博士(史学)	大宰府成立過程の研究	2023年度
博士(地理学)	農山村の新しい内発的発展に関する地理学的研究 ―農村空間の商品化とcommonsの創造をめぐる―	2023年度
博士(史学)	戦国大名浅井氏と家臣たちの動向～北近江の中世後期における政治・社会構造～	2024年度

● 教員一覧

日本文学専攻

※ 2026年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

※ 各教員の研究指導の学生募集の有無については、入学試験学生募集要項公開時の研究指導教員一覧表で確認してください。

■ 日本文学専攻 教員一覧 >>>



小野 正弘

ONO Masahiro

教授

研究分野 日本語の史的研究(文字・語彙・意味)

【最終学歴】筑波大学大学院
【担当授業科目】国語学演習/国語学特論
【研究テーマ】意味変化の研究
(特に、中立的意味のプラス・マイナス化)



山崎 健司

YAMAZAKI Kenji

博士(文学)
教授

研究分野 日本古代の詩歌

【最終学歴】筑波大学大学院
【担当授業科目】日本古代文学演習I/日本古代文学特論I
【研究テーマ】萬葉集の編纂と伝来/大伴家持の作品/日本古代韻文の表現技法



杉田 昌彦

SUGITA Masahiko

博士(文学)
教授

研究分野 日本近世文学

【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】日本近世文学演習I/日本近世文学特論
【研究テーマ】江戸時代の国学、とりわけ本居宣長の研究



牧野 淳司

MAKINO Atsushi

博士(文学)
教授

研究分野 平家物語と中世寺院文化研究

【最終学歴】名古屋大学大学院
【担当授業科目】日本中世文学演習I/日本中世文学特論
【研究テーマ】延慶本平家物語の注釈的研究/
中世寺院資料と唱導説経についての基礎的研究



竹内 栄美子

TAKEUCHI Emiko

博士(人文科学)
教授

研究分野 日本近代文学

【最終学歴】お茶の水女子大学大学院
【担当授業科目】日本近代文学演習I/日本近代文学特論I
【研究テーマ】プロレタリア文学や戦後文化運動を戦争・ジェンダー・植民地の観点から研究している



生方 智子

UBUKATA Tomoko

博士(文学)
教授

研究分野 日本近代・現代文学

【最終学歴】成城大学大学院
【担当授業科目】日本近代文学演習III/日本近代文学特論III
【研究テーマ】近代小説に描かれる欲望と幻想の形態



郭 南燕

GUO Nanyan

博士(人文科学)
教授

研究分野 日本近代文学、比較文学、日本文化

【最終学歴】お茶の水女子大学大学院
【担当授業科目】日本文学演習/日本文化学演習
【研究テーマ】キリスト教文学、日本社会とカトリック文化



湯浅 幸代

YUASA Yukiyo

博士(文学)
准教授

研究分野 日本中古文学(平安文学)、源氏物語受容史

【最終学歴】明治大学大学院
【担当授業科目】日本古代文学演習II/日本古代文学特論II
【研究テーマ】主に物語や日記に描かれる「王権」や「もののけ」、「魂」と「心」の表現/古注釈をはじめとする源氏物語受容について



田口 麻奈

TAGUCHI Mana

博士(文学)
准教授

研究分野 日本近現代文学、近現代詩

【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】日本近代文学演習II/日本近代文学特論II
【研究テーマ】国家や社会といった近代的共同性と日本の詩的言語の関係性



甲斐 雄一

KAI Yuichi

博士(文学)
准教授

研究分野 唐宋詩を中心とする中国古典文学

【最終学歴】九州大学大学院
【担当授業科目】漢文学演習
【研究テーマ】宋代における、出版文化を背景とした文学作品の流通と受容について

英文学専攻

※ 2026年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

※ 各教員の研究指導の学生募集の有無については、入学試験学生募集要項公開時の研究指導教員一覧表で確認してください。

■ 英文学専攻 教員一覧 >>>



野田 学

NODA Manabu

教授

研究分野 英国演劇・言語身体論・演技受容史
(特に18世紀英国)

【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】英文学演習II
【研究テーマ】英国演劇(初期近代、18-19世紀および現代)/演技・演出論および演技身体論、身体受容を巡る科学史、18世紀の英国経験主義を中心とした言語哲学



石井 透

ISHII Toru

Ph.D.
教授

研究分野 理論言語学

【最終学歴】カルフォルニア大学アーバイン校大学院
【担当授業科目】英語学演習II
【研究テーマ】統語理論・比較統語論



大山 るみこ Ph.D. 教授
OYAMA Rumiko

研究分野 映像記号論／文体論

【最終学歴】ロンドン大学大学院
【担当授業科目】英文学演習III
【研究テーマ】Multimodal Texts分析、文学教育とMultimodality



梶原 照子 博士(文学) 教授
KAJIWARA Teruko

研究分野 アメリカ文学・文化

【最終学歴】立教大学大学院
【担当授業科目】米文学演習IV
【研究テーマ】アメリカ文学、特に、アメリカ詩における身体的な言説の系譜、文学ジャンルとモダニティの関係を探求。Walt Whitmanに焦点



竹内 理矢 Ph.D. 教授
TAKEUCHI Masaya

研究分野 アメリカ文学・小説


【最終学歴】Kent State University
【担当授業科目】米文学演習III
【研究テーマ】アメリカ南部文学、失われた世代、近代・家族



ワトソン, アレックス D. Phil. 教授
WATSON, Alex

研究分野 英国ロマン主義、ポストコロナル理論、文学理論、英国の映画、ゴシック文学

【最終学歴】University of York
【担当授業科目】英文学演習IV
【研究テーマ】ロマン主義作品の注釈、ロマン主義のアジアでの受容、19世紀太平洋地域の英文学



久保田 俊彦 准教授
KUBOTA Toshihiko

研究分野 計量的な言語研究


【最終学歴】ロンドン大学・明治大学大学院
【担当授業科目】英語学演習III
【研究テーマ】コーパスをはじめとする計量的手法による言語研究



塚田 麻里子 講師
TSUKADA Mariko

研究分野 イギリス文学・文化(特に19・20世紀)


【最終学歴】明治大学大学院
【担当授業科目】英文学特論II
【研究テーマ】紀行文学、第一次世界大戦前後の詩・小説



新城 真里奈 講師
ARASHIRO Marina

研究分野 英語音声学


【最終学歴】東京外国語大学
【担当授業科目】英語学演習I
【研究テーマ】英語音声学(特にウェールズ英語)



横山 晃 博士(人文学) 講師
YOKOYAMA Akira

研究分野 アメリカ文学・文化

【最終学歴】テキサス大学ダラス校大学院
【担当授業科目】米文学演習I
【研究テーマ】19世紀後半から20世紀前半にかけて文学作品における都市の表象について



竹部 春樹 博士(文学) 講師
TAKEBE Haruki

研究分野 アメリカ文学



【最終学歴】京都大学大学院
【担当授業科目】米文学演習II
【研究テーマ】小説の創作過程、自作改訂、出版文化

仏文学専攻

※2026年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

※各教員の研究指導の学生募集の有無については、入学試験学生募集要項公開時の研究指導教員一覧表で確認してください。

■ 仏文学専攻 教員一覧 >>>

小島 久和 教授
KOJIMA Hisakazu

研究分野 ルネサンス文化


【最終学歴】明治大学大学院
【担当授業科目】近代仏文学演習III
【研究テーマ】ルネサンス期の思想



合田 正人 教授
GODA Masato

研究分野 19・20世紀フランス思想


【最終学歴】東京都立大学大学院／パリ第8大学大学院
【担当授業科目】現代仏文学演習I
【研究テーマ】19・20世紀の仏独思想交渉史／近代ユダヤ思想史／境界論



田母神 顕二郎 文学博士 教授
TAMOGAMI Kenjiro

研究分野 フランス近・現代詩

【最終学歴】パリ第8大学大学院
【担当授業科目】現代仏文学演習II
【研究テーマ】フランス近現代詩、精神医学、現代思想



根本 美作子 学術博士 教授
NEMOTO Misako

研究分野 フランス文学／20世紀文学／フランス現代批評／表象文化論

【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】現代仏文学演習III
【研究テーマ】言葉とアイデンティティ、個人と近代、オートマチズムと個人、「日本」と近代

**谷口 亜沙子**

TANIGUCHI Asako

博士(文学)
教授**研究
分野** 現代フランス文学【最終学歴】パリ第7大学／早稲田大学文学学術院
【担当授業科目】現代仏文学演習Ⅳ
【研究テーマ】詩(ポエジー)／歴史と記憶／戦争の表象**奥 香織**

OKU Kaori

博士(フランス文学・文明)
教授**研究
分野** 舞台芸術、劇文学、演劇美学/
18世紀フランス文学・文化【最終学歴】パリ第4大学大学院
【担当授業科目】近代仏文学演習Ⅳ
【研究テーマ】演劇を中心とした18世紀フランス文学・文化／戯曲、理論、上演の関係にある演劇美学の変容(17-19世紀)／オペラ=コミックの生成と変容**渡辺 惟央**

WATANABE Iw

博士(フランス文学)
講師**研究
分野** 20世紀フランス文学・思想【最終学歴】パリ第8大学大学院
【担当授業科目】仏語学演習
【研究テーマ】20世紀フランスにおける文学言語論／文学と言語思想の関係／北アフリカを中心としたフランス語圏の文学と社会**渡辺 学**

WATANABE Manabu

教授

**研究
分野** 日独言語文化研究／社会言語学/
文体・スタイル論／異文化コミュニケーション【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】独語学演習
【研究テーマ】言語文化史を踏まえながら現代ドイツ語の語彙・文体等を日本語と対照しつつ調査分析**福間 具子**

FUKUMA Tomoko

博士(文学)
教授**研究
分野** ユダヤ系ドイツ語文学と言語哲学【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】現代独文学演習Ⅰ
【研究テーマ】ユダヤ系ドイツ語文学、特に現代詩／ウィーンのユダヤ文化**新本 史斉**

NIMOTO Fuminari

文学修士
教授**研究
分野** ドイツ語圏スイス文学、翻訳論、
ヨーロッパ越境文学【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】現代独文学演習Ⅲ
【研究テーマ】<翻訳者=作者>による創作、ドイツ語文学における多言語性、翻訳比較分析**独文学専攻**

※ 2026年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

※ 各教員の研究指導の学生募集の有無については、入学試験学生募集要項公開時の研究指導教員一覧表で確認してください。

■ 独文学専攻 教員一覧 >>>

**演劇学専攻**

※ 2026年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

※ 各教員の研究指導の学生募集の有無については、入学試験学生募集要項公開時の研究指導教員一覧表で確認してください。

■ 演劇学専攻 教員一覧 >>>

**マンデルartz, ミハヤエル**

MANDELARTZ Michael

Dr.phil.
教授**研究
分野** ドイツ文学18~20世紀【最終学歴】アーヘン工科大学大学院
【担当授業科目】ドイツ文芸思想史演習
【研究テーマ】ワイマール古典、ロマン主義／文学と哲学、宗教、自然科学／ドイツ・ユダヤ文学**伊藤 真紀**

ITO Maki

教授

**研究
分野** 近代日本演劇【最終学歴】明治大学大学院
【担当授業科目】日本演劇演習Ⅰ／日本演劇特論Ⅱ
【研究テーマ】日本における近代演劇の展開を、同時代の社会全体との関わりから考察する**富重 与志生**

TOMISHIGE Yoshio

教授

**研究
分野** 18世紀および現代ドイツ文学・芸術【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】近代独文学演習Ⅱ
【研究テーマ】特にカール・フィリップ・モーリッツ、レッシングそして20世紀の表現主義・ダダイズム以降の芸術・文学を研究**井上 優**

INOUE Masaru

教授

**研究
分野** 演劇学／西洋演劇史【最終学歴】明治大学大学院
【担当授業科目】演劇学演習Ⅰ／西洋劇文学史特論Ⅲ
【研究テーマ】近代における西洋の上演体制の革新**岡本 和子**

OKAMOTO Kazuko

博士(文学)
教授**研究
分野** ドイツ近現代文学・芸術批評【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】近代独文学演習Ⅰ
【研究テーマ】ベンヤミンの芸術批評理論、近代ドイツ文学における幼年時代の記述可能性、都市ベルリンと文学**矢内 賢二**

YANAI Kenji

博士(文学)
教授**研究
分野** 演劇学／日本芸能史【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】日本演劇特論Ⅰ／日本演劇演習Ⅱ
【研究テーマ】歌舞伎を中心とする近世・近代の演劇に関する歴史的研究



大林 のり子

博士(文学)
教授

OBATASHI Noriko

研究分野 演劇学/近現代欧米の舞台芸術史

【最終学歴】大阪大学大学院
【担当授業科目】演劇学演習II/西洋劇文学史特論II
【研究テーマ】20世紀前半の舞台芸術の展開—ドイツ語圏の演出家と協働舞台製作、その国際化とポピュラリティについて



伊藤 愉

准教授

ITO Masaru

研究分野 ロシア演劇史、日露文化交流史

【最終学歴】一橋大学大学院
【担当授業科目】演劇学演習III/西洋劇文学史特論I
【研究テーマ】ロシア/ソヴィエト・モダニズム演劇における演劇と社会



相良 剛

講師

SAGARA Go

研究分野 出版論

【最終学歴】ロンドン大学大学院
【担当授業科目】文芸メディア演習V/文芸メディア特論V
【研究テーマ】電子分野を含む出版メディアの分析



佐伯 和香子

博士(文学)
講師

SAEKI Wakako

研究分野 日本古典文学・口承文芸

【最終学歴】國學院大学大学院
【担当授業科目】文芸メディア演習I、伝承文学特論I
【研究テーマ】日本古典文学の民俗学的研究

文芸メディア専攻

※2026年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

※各教員の研究指導の学生募集の有無については、入学試験学生募集要項公開時の研究指導教員一覧表で確認してください。

■ 文芸メディア専攻 教員一覧 >>>



史学専攻(日本史学専修)

※2026年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

※各教員の研究指導の学生募集の有無については、入学試験学生募集要項公開時の研究指導教員一覧表で確認してください。

■ 史学専攻(日本史学専修) 教員一覧 >>>



内村 和至

教授

UCHIMURA Katsushi

研究分野 日本近世文学・思想/明治初期戯作文学

【最終学歴】明治大学大学院
【担当授業科目】文芸メディア演習II/日本文芸史特論
【研究テーマ】上田秋成研究・禅思想研究・国学思想研究・戯作文芸研究



山田 朗

博士(史学)
教授

YAMADA Akira

研究分野 日本現代の政治史/天皇制研究/歴史教育論

【最終学歴】東京都立大学大学院
【担当授業科目】日本史学研究(演習)/日本史学研究(講義)
【研究テーマ】15年戦争期から戦後占領期を中心とする国家と軍事の関係、天皇制の役割、植民地支配に関する研究



中江 桂子

博士(社会学)
教授

NAKAE Keiko

研究分野 文化社会学 メディア文化論
生活文化論 身体と社会

【最終学歴】法政大学大学院
【担当授業科目】文芸メディア演習IV/表象文化特論
【研究テーマ】文芸とコミュニケーションの社会史的研究。生活文化と社会心理の重層的なかかわりについての社会史的研究。身体とメディアに関する社会学



落合 弘樹

博士(文学)
教授

OCHIAI Hiroki

研究分野 日本近代史(明治維新史)

【最終学歴】中央大学大学院文学研究科
【担当授業科目】日本史学研究(演習)/日本史学研究(講義)
【研究テーマ】幕末維新期における国家の担い手の変動を、旧藩士族の存在を基軸に研究をすすめている。



伊藤 氏貴

博士(芸術学)
教授

ITO Ujilaka

研究分野 現代における文藝思潮

【最終学歴】日本大学大学院
【担当授業科目】文芸メディア演習VI/文芸メディア特論VI
【研究テーマ】「文学の終焉」と「藝術の終焉」との関係、またさらにそへの「自我の終焉」のかかわり



高橋 一樹

博士(文学)
教授

TAKAHASHI Kazuki

研究分野 日本中世史・史料学

【最終学歴】大阪市立大学大学院
【担当授業科目】日本史学研究(講義)/日本史学研究(演習)
【研究テーマ】中世荘園制の展開過程について、都市・農村間の交通体系や文書論の視点から研究



能地 克宜

博士(学術)
准教授

NOJI Katsunori

研究分野 日本近現代文学

【最終学歴】早稲田大学大学院
【担当授業科目】文芸メディア演習III/近現代文芸特論
【研究テーマ】室生犀星研究、浅草文芸研究、街と文学の研究、言葉と想像力の関係の研究



松山 恵

博士(工学)
教授

MATSUYAMA Megumi

研究分野 日本近代史(都市史、文化史)

【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】日本史学研究(講義)/日本史学研究(演習)
【研究テーマ】日本近代都市史。おもに幕末から明治期にかけての日本都市の特質について、空間・社会・文化の諸相から総合的に考察



野尻 泰弘

NOJIRI Yasuhiro

博士(史学)
教授

研究分野 日本近世史(村落史、地域史、藩研究)

【最終学歴】学習院大学大学院
【担当授業科目】日本史学研究(演習)/日本史学研究(講義)
【研究テーマ】近世日本の支配・被支配の関係について藩領域を中心に研究



中村 友一

NAKAMURA Tomokazu

博士(史学)
教授

研究分野 日本古代史(政治史・法制史・地域史)

【最終学歴】明治大学大学院
【担当授業科目】日本史学研究(演習)/日本史学研究(講義)
【研究テーマ】日本古代の慣習法・律令法の形成・展開と政治史・地域史の総合的研究



清水 有子

SHIMIZU Yuki

博士(史学)
教授

研究分野 近世日本史(政治・外交・キリシタン)

【最終学歴】東京都立大学大学院
【担当授業科目】日本史学研究(演習)/日本史学研究(講義)
【研究テーマ】近世日本の対外関係史・政治史/キリシタン史/近世国家論



富山 仁貴

TOMIYAMA Noritaka

博士(歴史学)
准教授

研究分野 日本現代史(社会史、地域史、教育史)

【最終学歴】関西学院大学大学院
【担当授業科目】日本史学研究(演習)/日本史学研究(講義)
【研究テーマ】20世紀日本における社会運動・学校教育の社会史

史学専攻(アジア史専修)

※ 2026年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

※ 各教員の研究指導の学生募集の有無については、入学試験学生募集要項公開時の研究指導教員一覧表で確認してください。

■ 史学専攻(アジア史専修)教員一覧 >>>



高田 幸男

TAKADA Yuki

教授

研究分野 中国近現代史
—特に教育史・江南地域社会史—

【最終学歴】明治大学大学院
【担当授業科目】アジア史研究(演習)/アジア史研究(講義)
【研究テーマ】20世紀中国における政治・社会・教育文化の変容—江南地域社会を中心に—/近代東アジア教育交流史



江川 ひかり

EGAWA Hikari

教授

研究分野 トルコ近代史

【最終学歴】お茶の水女子大学大学院
【担当授業科目】アジア史研究(演習)/アジア史研究(講義)
【研究テーマ】オスマン帝国社会経済史。具体的なテーマは、土地問題、人口・家族史、遊牧民を含めた地方社会の変容、演劇史



高村 武幸

TAKAMURA Takeyuki

博士(史学)
教授

研究分野 中国古代史(秦漢史)

【最終学歴】明治大学大学院
【担当授業科目】アジア史研究(演習)/アジア史研究(講義)
【研究テーマ】秦漢時代の文献・簡牘史料を用いた制度・社会の研究



櫻井 智美

SAKURAI Satomi

博士(文学)
教授

研究分野 中国近世史(宋元史)/モンゴル帝国史

【最終学歴】京都大学大学院
【担当授業科目】アジア史研究(演習)/アジア史研究(講義)
【研究テーマ】11~15世紀中国の政治制度・文化について考察し、東~内陸アジアの変容を跡づける



鈴木 開

SUZUKI Kai

博士(文学)
准教授

研究分野 朝鮮史・中国明清史

【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】アジア史研究(演習)/アジア史研究(講義)
【研究テーマ】朝鮮燕行使を中心とした朝鮮王朝の外交体制

史学専攻(西洋史学専修)

※ 2026年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

※ 各教員の研究指導の学生募集の有無については、入学試験学生募集要項公開時の研究指導教員一覧表で確認してください。

■ 史学専攻(西洋史学専修)教員一覧 >>>



水野 博子

MIZUNO Hinoko

Dr.Phil.
教授

研究分野 西洋近現代史

【最終学歴】オーストリア・グラーツ大学
【担当授業科目】西洋史学研究(演習)/西洋史学研究(講義)
【研究テーマ】「オーストリア国民」形成の歴史と文化、消防団の社会史、記憶文化史、境界領域研究



青谷 秀紀

AOTANI Hidetoki

博士(文学)
教授

研究分野 西洋中世史

【最終学歴】京都大学大学院
【担当授業科目】西洋史学研究(演習)/西洋史学研究(講義)
【研究テーマ】中世ヨーロッパの歴史叙述と歴史意識/中世ネーデルラント都市の宗教社会史



古山 夕城

FURUYAMA Yugi

准教授

研究分野 西洋古代史/ギリシア古代史

【最終学歴】明治大学大学院
【担当授業科目】西洋史学研究(演習)/西洋史学研究(講義)
【研究テーマ】ギリシア世界における周縁地域の政治社会構造と異文化交渉/ギリシア古代における葬祭礼と国家



鰐淵 秀一

WANIBUCHI Shuichi

Ph.D.
准教授

研究分野 初期アメリカ史・大西洋史
(特に植民地時代から革命期)

【最終学歴】ハーヴァード大学大学院
【担当授業科目】西洋史学研究IV(演習)、西洋史学研究IV(講義)
【研究テーマ】北米植民地における社会文化史および環境史、アメリカ革命における公論と暴力



谷口 良生

TANIGUCHI Ryosei

博士(文学)
准教授

研究分野 近現代フランス史

【最終学歴】京都大学大学院
【担当授業科目】西洋史学研究(講義・演習)
【研究テーマ】近代フランスの議会史/近現代フランス史の歴史叙述

史学専攻(考古学専修)

※2026年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

※各教員の研究指導の学生募集の有無については、入学試験学生募集要項公開時の研究指導教員一覧表で確認してください。

■ 史学専攻(考古学専修)教員一覧 >>>



阿部 芳郎

ABE Yoshio

博士(史学)
教授

研究分野 先史考古学・縄文時代・生業論・資源利用史・型式学

【最終学歴】明治大学大学院
【担当授業科目】考古学研究(演習)/考古学研究(講義)
【研究テーマ】学際的研究を通じて生業や社会構造から縄文文化の特質を描き出す



佐々木 憲一

SASAKI Ken'ichi

Ph.D.
教授

研究分野 国家形成期の考古学(古墳時代)

【最終学歴】ハーヴァード大学大学院
【担当授業科目】考古学研究(講義・演習)/総合史学研究
【研究テーマ】在地社会の主体性・自立性を重視し、周縁地域が国家に向けて進化していく過程を追求する。



藤山 龍造

FUJYAMA Ryuzo

博士(史学)
教授

研究分野 先史考古学/考古学の方法論

【最終学歴】慶應義塾大学大学院
【担当授業科目】考古学研究(演習)/考古学研究(講義)
【研究テーマ】先史時代の自然環境と資源開発/考古学の方法論/考古学的方法の領域横断的な可能性



若狭 徹

WAKASA Toru

博士(史学)
教授

研究分野 日本考古学・古墳時代・社会構造論・遺跡の保存活用

【最終学歴】明治大学
【担当授業科目】考古学研究(講義)、考古学研究(演習)
【研究テーマ】古墳時代首長の地域経営政策を研究し、なぜ巨大古墳が造られたのかを解明する

地理学専攻

※2026年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

※各教員の研究指導の学生募集の有無については、入学試験学生募集要項公開時の研究指導教員一覧表で確認してください。

■ 地理学専攻 教員一覧 >>>



川口 太郎

KAWAGUCHI Taro

博士(理学)
教授

研究分野 都市地理学/社会地理学

【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】人文地理学演習I/地理学合同演習
【研究テーマ】都市における空間資源の利活用。人口減少時代の大都市社会空間の変容。ワークライフスタイルと住まいの選択



梅本 亨

UMEMOTO Toku

理学博士
教授

研究分野 気候学・自然地理学

【最終学歴】東京都立大学大学院
【担当授業科目】自然地理学演習I/地理学合同演習
【研究テーマ】日本列島の山地の気候と植生を中心とした自然景観の研究。スカンジナビアの気候と植生を主体とする北極圏の自然地理学



大城 直樹

OSHIRO Naoki

博士(文学)
教授

研究分野 文化地理学/地理思想史

【最終学歴】大阪市立大学大学院
【担当授業科目】人文地理学演習II/地理学合同演習
【研究テーマ】地域文化の生産・流通・消費/近現代における都市と身体の関係性の変容



中澤 高志

NAKAZAWA Takashi

博士(学術)
教授

研究分野 経済地理学/都市地理学

【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】人文地理学演習III/地理学合同演習
【研究テーマ】日本における「労働の地理学」の実証的展開/世代交代に伴う大都市圏の構造変容



荒又 美陽

ARAMATA Mitsu

博士(社会学)
教授

研究分野 人文地理学/フランス社会学

【最終学歴】一橋大学大学院
【担当授業科目】地誌学演習I/地理学合同演習
【研究テーマ】近現代フランスにおける都市計画事業の思想的背景に関する研究



山本 大策

YAMAMOTO Daisaku

Ph.D.
教授

研究分野 人文地理学(経済地理学、生活環境論)

【最終学歴】ミネソタ大学大学院
【担当授業科目】地誌学演習、大学院合同演習
【研究テーマ】生活環境や経済機会の変化と地域的対応に関する研究



中川 秀一

博士(地理学)
教授

NAKAGAWA Shuichi

研究分野 経済地理学 資源管理論 山村地域論

【最終学歴】名古屋大学大学院
【担当授業科目】地誌学特論IB/地理学合同演習
【研究テーマ】農村空間の商品化と田園回帰の相互関係、生命資源の再生産を基盤とする内発的地域発展



佐々木 夏来

博士(環境学)
講師

SASAKI Natsumi

研究分野 自然地理学/地形学

【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】自然地理学演習II/地理学合同演習
【研究テーマ】山岳湿地の形成と発達に関する地形学的研究

臨床人間学専攻(臨床心理学専修)

※2026年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

※各教員の研究指導の学生募集の有無については、入学試験学生募集要項公開時の研究指導教員一覧表で確認してください。

■ 臨床人間学専攻(臨床心理学専修) 教員一覧 >>>



岡安 孝弘

博士(心理学)
教授

OKAYASU Takahiro

研究分野 教育臨床心理学/健康心理学/認知行動療法

【最終学歴】上智大学大学院
【担当授業科目】臨床人間学総合演習/健康心理学特論/臨床心理基礎実習
【研究テーマ】思春期・青年期における精神的健康に関する研究



諸富 祥彦

博士(教育学)
教授

MOROTOMI Yoshihiko

研究分野 人間性心理学 自己成長の心理学
学校臨床心理学

【最終学歴】筑波大学大学院
【担当授業科目】臨床人間学総合演習/臨床心理基礎実習/臨床心理面接特論/学校臨床心理学特論
【研究テーマ】実存的心理療法、人間性心理学、フォーカシング学校心理臨床、不登校、いじめ、スクールカウンセラーの実践活動



伊藤 直樹

博士(人間学)
教授

ITO Naoki

研究分野 学生相談・教育相談・特別支援教育

【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】思春期・青年期論/臨床人間学総合演習/心理学研究法特論/臨床心理実習
【研究テーマ】思春期・青年期における学校での適応の改善に関する研究



高瀬 由嗣

博士(心理学)
教授

TAKASE Yuki

研究分野 臨床心理学/心理査定

【最終学歴】中京大学大学院
【担当授業科目】臨床人間学総合演習/臨床心理実習/臨床心理査定演習
【研究テーマ】心理テストの科学的基盤の検討



加藤 尚子

博士(コミュニティ福祉学)
教授

KATO Shoko

研究分野 臨床心理学/コミュニティ心理学

【最終学歴】立教大学大学院
【担当授業科目】臨床人間学総合演習/臨床心理実習/コミュニティアプローチ特論
【研究テーマ】心理コンサルテーション/アタッチメント・トラウマの心理療法/虐待を受けた子どもの養育支援



濱田 祥子

博士(心理学)
教授

HAMADA Shoko

研究分野 児童期、思春期の臨床心理学

【最終学歴】名古屋大学大学院
【担当授業科目】臨床人間学総合演習/臨床心理学特論/臨床心理実習
【研究テーマ】児童期、思春期の心理的問題、行動上の問題についての研究



竹松 志乃

准教授

TAKEMATSU Shino

研究分野 臨床心理学/心理療法

【最終学歴】上智大学大学院
【担当授業科目】臨床人間学総合演習/臨床心理面接特論
【研究テーマ】イメージを媒介とする心理療法の研究・実践/テス・エデュケーションに関する臨床心理学的研究・実践



佐々木 掌子

博士(教育学)
准教授

SASAKI Shoko

研究分野 臨床心理学/性科学/性心理発達

【最終学歴】慶應義塾大学大学院
【担当授業科目】臨床人間学総合演習/臨床心理学特論B/臨床心理基礎実習
【研究テーマ】多様な性に対する臨床心理学的支援



川島 義高

博士(医学)
准教授

KAWASHIMA Yoshitaka

研究分野 医療心理学、自殺予防

【最終学歴】日本医科大学大学院医学研究科
【担当授業科目】臨床人間学総合演習、臨床心理実習
【研究テーマ】医療・教育・福祉・産業などの領域における自殺予防、精神疾患および身体疾患と健康、ストレスマネジメント、支援者支援教育、専門職連携教育

臨床人間学専攻(現代社会学専修)

※2026年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

※各教員の研究指導の学生募集の有無については、入学試験学生募集要項公開時の研究指導教員一覧表で確認してください。

■ 臨床人間学専攻(現代社会学専修) 教員一覧 >>>



大畑 裕嗣

教授

OHATA Hiroshi

研究分野 社会運動論/市民社会論

【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】臨床人間学総合演習/現代社会学演習II
【研究テーマ】市民社会における出来事の連鎖としての社会運動



平山 満紀

HIRAYAMA Maki

教授

研究分野 セクシュアリティの社会学 / 身体と身体文化の社会学

【最終学歴】東京大学大学院博士課程単位取得退学
【担当授業科目】臨床人間学総合演習 / 現代社会学演習V
【研究テーマ】日本におけるセクシュアリティの近現代史、セクシュアリティの国際比較研究、健康と病



内藤 朝雄

NAITO Aso

准教授

研究分野 社会学 / 臨床社会学 / 心理社会学

【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】臨床人間学総合演習 / 現代社会学演習IV
【研究テーマ】学校や職場や地域などのいじめ / 民族・宗教紛争 / 自由な社会の構想 / 心理-社会的な秩序の生態学モデル / 進化理論の応用



昔農 英明

SEKINO HIDEAKI

博士(社会学) 准教授

研究分野 国際社会学、多文化共生論

【最終学歴】慶應義塾大学大学院
【担当授業科目】臨床人間学総合演習 / 現代社会学演習I
【研究テーマ】移民・難民保護の比較社会学的研究



宇田 和子

UDA Kazuko

博士(政策科学) 准教授

研究分野 環境社会学 / 保健医療社会学

【最終学歴】法政大学大学院
【担当授業科目】臨床人間学総合演習、現代社会学演習III
【研究テーマ】環境被害と生活回復、公害・薬害・食品公害の補償政策の比較

臨床人間学専攻(教育学専修)

※ 2026年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

※ 各教員の研究指導の学生募集の有無については、入学試験学生募集要項公開時の研究指導教員一覧表で確認してください。

■ 臨床人間学専攻(教育学専修) 教員一覧 >>>



齋藤 泰則

SAITO Yasunori

教授

研究分野 図書館情報学

【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】図書館情報学演習・図書館情報学特論・情報サービス特論
【研究テーマ】知の典拠性(cognitive authority)論 / 図書館のレファレンスサービスにおける質問応答機能 / 認識論理にもとづく知と無知の定式化



平川 景子

HIRAKAWA Kōko

教授

研究分野 社会教育

【最終学歴】早稲田大学大学院
【担当授業科目】社会教育学演習、社会教育実践論
【研究テーマ】女性の主体形成 / 労働者の主体形成 / 社会教育実践分析 / 学習支援者の力量形成



青柳 英治

AOTAGI Eiji

博士(図書館情報学) 教授

研究分野 図書館情報学

【最終学歴】筑波大学大学院
【担当授業科目】図書館情報学演習 / 図書館経営特論
【研究テーマ】図書館員の人的資源管理 / 社会の変化に応じた公共図書館の機能と役割 / 専門図書館の管理・サービス



駒見 和夫

KOMAMI Kazuo

博士(歴史学) 教授

研究分野 博物館学、歴史考古学

【最終学歴】東洋大学大学院
【担当授業科目】博物館学演習I、博物館学特論
【研究テーマ】生涯学習を見据えた博物館の役割と機能、社会包摂に位置づく博物館、博物館の哲学と倫理の検討



三浦 太郎

MURA Taro

教授

研究分野 図書館情報学

【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】図書館情報学演習 / 図書館文化特論
【研究テーマ】図書館史、特に近現代日本の図書館制度に関する考察 / 国際的な図書館協力



山下 達也

YAMASHITA Tatsuya

博士(教育学) 教授

研究分野 教育史、比較教育学

【最終学歴】九州大学大学院
【担当授業科目】教育学総合演習、教育学演習VIII
【研究テーマ】日本を含むアジアの学校・教員に関する比較史研究



伊藤 貴昭

ITO Takaaki

博士(教育学) 教授

研究分野 教育心理学

【最終学歴】慶應義塾大学大学院
【担当授業科目】教育学総合演習、教育学習心理学特論
【研究テーマ】認知過程に基づく教授学習研究



関根 宏朗

SEKINE Hiroaki

博士(教育学) 教授

研究分野 教育人間学、教育思想史

【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】教育学演習II、教育人間学、教育学総合演習
【研究テーマ】政治的主体形成をめぐる理論的・思想的の研究



井上 由佳

INOUE Yuka

Ph.D. 教授

研究分野 博物館学、博物館教育学、国際理解教育、博物館の人材育成

【最終学歴】Institute of Education, University of London
【担当授業科目】臨床人間学総合演習、博物館教育論特論
【研究テーマ】国内外の博物館の社会的・教育的役割、博物館人材育成の国際比較



杉山 晋平

SUGIYAMA Shimpei

准教授

研究
分野 社会教育学

【最終学歴】北海道大学大学院
【担当授業科目】社会教育学演習II、生涯学習特論
【研究テーマ】学習支援者の力量形成、地域づくりと生涯学習、地域多文化共生と社会教育



太田 知実

OTA Tomomi

博士(教育学)
講師

研究
分野 教育制度論、教師教育論

【最終学歴】神戸大学大学院
【担当授業科目】教師教育論、教育学演習
【研究テーマ】アメリカの教員養成・若手教員支援の研究